

取扱説明書・取付説明書は必ずお客様に渡してください。

東芝天井カセット形４方向吹出しタイプ用 気化式加湿器 取付説明書

TCB-HS902U TCB-HS1602U

取付に際しましては、この説明書をよく読み正しい取付が行われますようお願いいたします。

基本的な注意事項

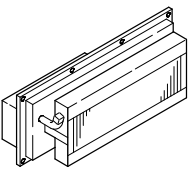

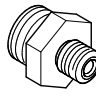
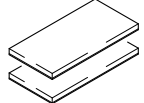


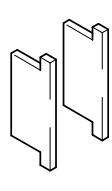

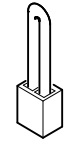
- 加湿器の取付け工事は、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
- ヒューミディスタット〔23Hu〕（現地手配）は、湿度低下で接点が閉となる形式で接点容量200VA以上の物を準備してください。
- 加湿器給水配管側、電装部側の天井面に $\varnothing 450$ 以上の点検口を設置してください。
- 供給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用してください。保守管理のため現地手配の給水配管には、給水用サービスバルブ（現地手配）を設けてください。
- 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン〔型式認可品〕（現地手配）をご使用ください。
- 現地手配の給水配管にフラッシングバルブの取付をおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない時は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと匂いの発生・菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、フラッシングバルブと給水用サービスバルブを開き、配管内を新しい水に置換えてから使用してください。
- 使用給水圧力は0.05～0.5MPa・水温は5～30℃です。この範囲内でご使用ください。
- 加湿（暖房）シーズン後は、給水用サービスバルブを必ず閉めて下さい。
- 通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
- シーズンイン時には、給水ストレーナの清掃を行ってください。
- 現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください（断熱材現地手配）。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

〔仕 様〕

機 種 名		TCB-HS902U	TCB-HS1602U
適合 室内ユニット 形名	店舗用 AIU-	P401H (R) (RJ)、P451H (R) (RJ)、P501H (R) (RJ) P561H (R) (RJ)、P631H (R) (RJ)、P711H (R)、P801H (R)	P1121H (R)、P1401H (R) P1601H (R)
		AP401H (R) (RJ) / (-1)、AP451H (R) (RJ) / (-1) AP501H (R) (RJ) / (-1)、AP561H (R) (RJ) / (-1) AP631H (R) (RJ) / (-1)、AP711H (R) / (-1)、AP801H (R) / (-1)	AP1121H (R) / (-1) AP1401H (R) / (-1) AP1601H (R) / (-1)
		AP404H (R) (RJ)、AP454H (R) (RJ)、AP504H (R) (RJ) AP564H (R) (RJ)、AP634H (R) (RJ)、AP714H (R)、AP804H (R)	AP1124H (R)、AP1404H (R) AP1604H (R)
	マルチ用 MMU-	AP281H (RJ)、AP361H (RJ)、AP451H (RJ)、AP561H (RJ) AP711H (RJ)、AP801H (RJ)、AP901H (RJ)	AP1121H (RJ)、AP1401H (RJ) AP1601H (RJ)
		AP283H (RJ)、AP383H (RJ)、AP453H (RJ)、AP563H (RJ) AP713H (RJ)、AP803H (RJ)、AP903H (RJ)	AP1123H (RJ)、AP1403H (RJ) AP1603H (RJ)
電 源		単相200V 50／60Hz	
周 囲 温 湿 度		加湿器本体：5℃～60℃ 90%RH以下 リレーボックス：5℃～40℃ 80%RH以下	

部品構成

下記の部品で構成されておりますのでお確かめください。

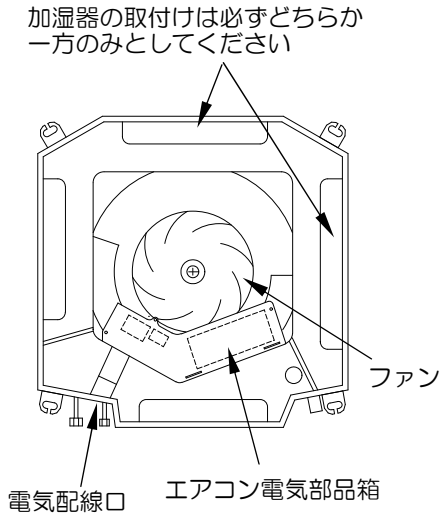
取付説明書	加湿器本体	給水軟銅管	給水接続継手	リングナット用 断熱材	吸水 シート	断熱材 A	断熱材 B	固定バンド	短絡コネクタ
「本書」 「取扱説明書」 「取付および 取扱時の安全 上のご注意」									

その他に閉端接続子×2ヶ、 $\phi 4$ トラスタッピング×8ヶ、

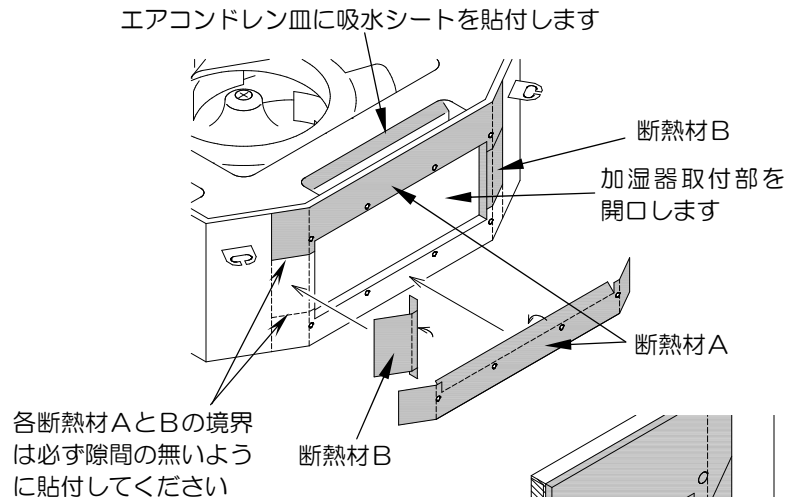
取付手順

加湿器の組み込みは、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。

- 加湿器はエアコン本体側面のどちらか一方に取付けできます。
- エアコン側面の加湿器取付け面ハーフカット部を金鋸・ニッパーなどでていねいに板金を切断し開口してください。さらにエアコン内面の断熱材をよく切れるカッターなどで、板金にそってていねいにカットし、角穴を開けてください。（図－1、2）内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。
- 角穴開口後、開口部周囲に付属の断熱材A、Bを貼付してください。（図－2、3）
- 加湿器を取り付ける側のエアコンドレン皿に付属の吸水シートを貼付してください。（図－2）

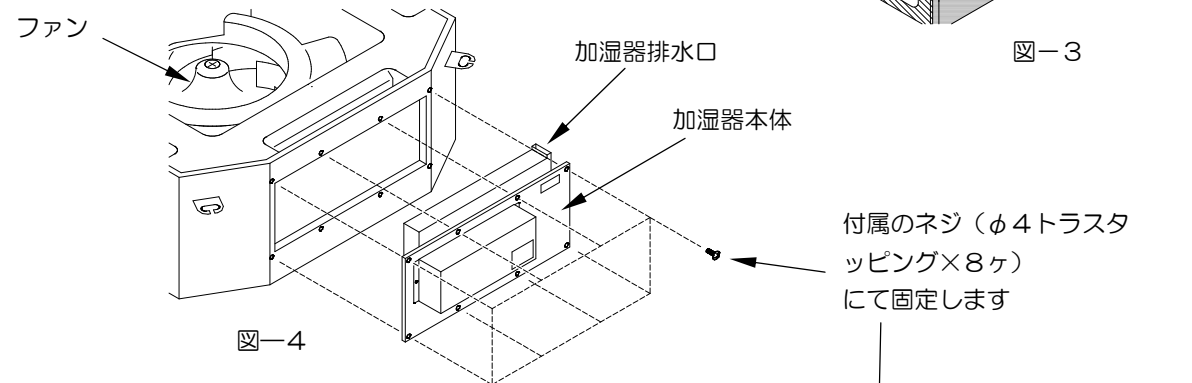


図－1

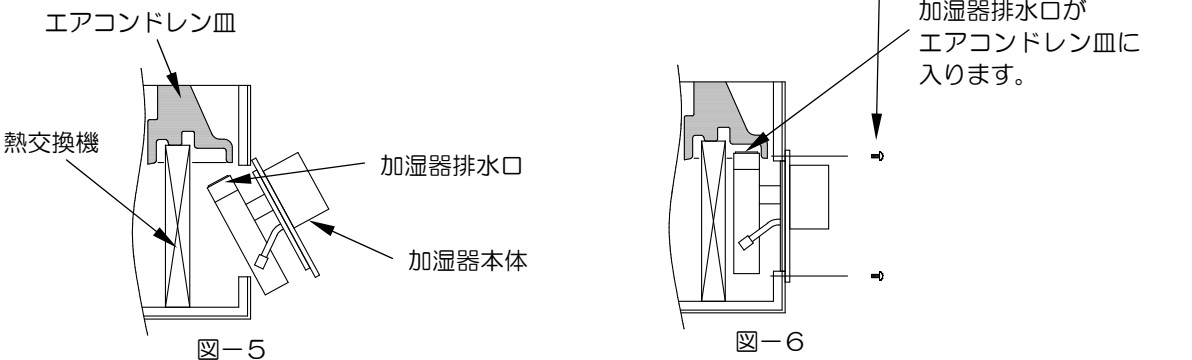


図－2

- 加湿器本体を開口したエアコン側面の各穴に向きに注意して取り付けます。この時、加湿器排水口がエアコン本体のドレン皿に確実に入っていることを確認してください。（図－5～6）
- 付属のネジ（ $\phi 4$ トラスタッピング×8ヶ）で加湿器本体をしっかりと固定してください。（図－6）



図－3



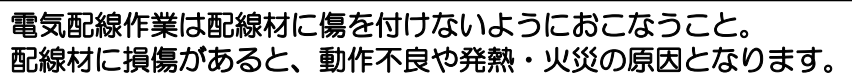
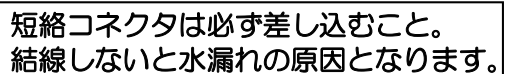
図－4

図－5

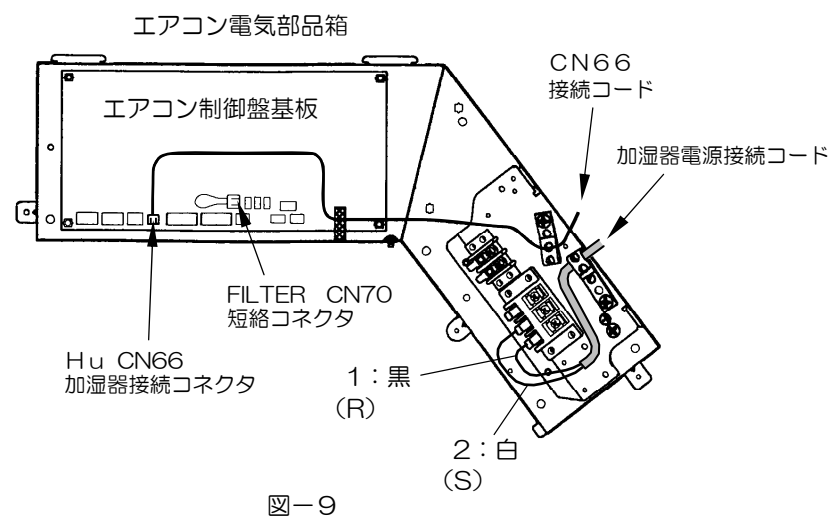
図－6

裏面に続く

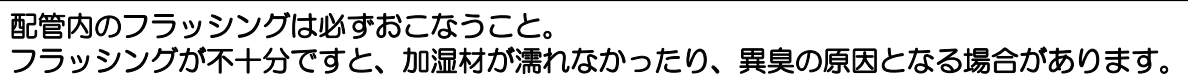
1. エアコン本体の電気配線口からエアコン本体へ配線を引き込みます。(図-7)
2. エアコン電気部品箱の蓋を開き、加湿器電源接続コードを接続します。(図-9)
3. 加湿器接続コネクタ端子をエアコン制御基板の『H U C N 6 6』2 Pコネクタに接続します。(図-9)
4. 付属の短絡コネクタをエアコン制御基板の『F I L T E R C N 7 0』2 Pコネクタに差し込みます。(図-9)



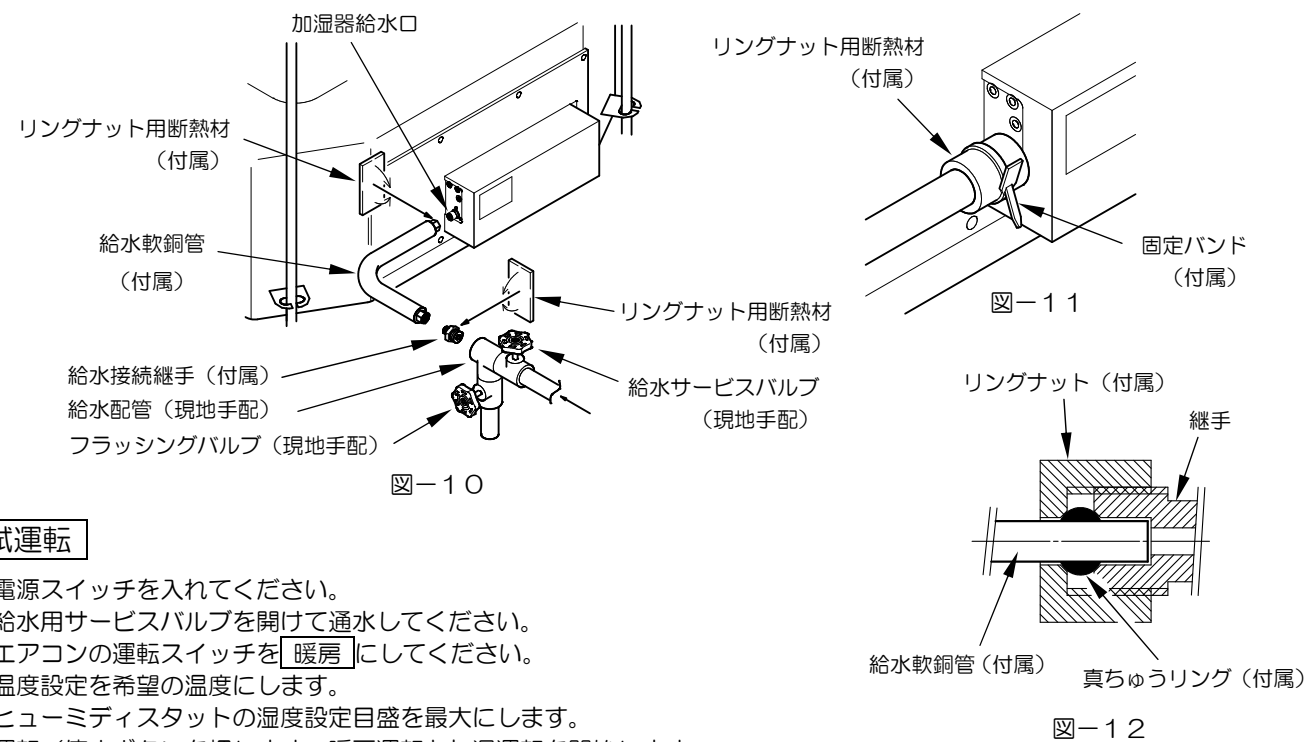
- 図-7



1. エアコンの据付説明書に従ってエアコン本体を据付けてください。
2. 現地給水管内の油分・塵埃などを除去するために、配管接続前にバケツなどで水を受けながら、十分なフラッシングをおこなってください。



3. 付属の給水軟銅管内にゴミなどが入っていないことを確認し、加湿器本体の給水口に給水軟銅管を接続してください。
(ダブルスパナ使用・締付けトルク 10~15N・m 程度)
4. 図-10 に従って現地手配の給水配管をしてください。
接続はリングジョイント式です。図-12 を参照の上接続してください。
5. 付属の給水接続継手〔接続部は R1/2 (1/2 おねじ)〕を現地手配の給水管に接続してください。
6. 接続部の水漏れ確認を行ってください。
7. リングナット部に付属の断熱材を貼付け、付属の固定バンドで固定してください。(2ヶ所)(図-11)
8. 現地手配給水配管にも、断熱処理を行ってください。(断熱材 現地手配)



- ・電源スイッチを入れてください。
- ・給水用サービスバルブを開けて通水してください。
- ・エアコンの運転スイッチを「暖房」にしてください。
- ・温度設定を希望の温度にします。
- ・ヒューミディスタットの湿度設定目盛を最大にします。
- ・運転／停止ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
- ・運転を停止するには再び、運転／停止ボタンを押します。
- ・暖房（加湿）運転開始後、30分ほど運転し、エアコン吹出口より加湿モジュールの加湿材が一樣に濡れていることを確認してください。
- ・ヒューミディスタットの設定を変化させて、加湿器のON、OFFが正常であることを確認してください。
- ・加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止している時は加湿器も停止します。

